

オズギュル・ツナ・オズマン研究員（トルコ）



私は、トルコの首相府災害緊急事態対策庁（AFAD）計画・リスク削減部に所属する地球物理専門の技術者です。トルコは、大陸間にわたる国で、主に西アジアにあるアナトリア半島から、南東ヨーロッパに位置するバルカン半島に位置しています。主に地震、洪水、地滑りといった3種類の自然災害が発生します。人口の72%は、地震の多い地域に暮らしています。

このことから、AFADの使命は、人々の災害に対する意識を啓発し、「災害に強い社会」を構築すること、そして、トルコ社会の「災害に敏感な文化」を構築することです。また、AFADの目的は、「国家防災戦略」と連動した統合的な防災システムを実施することです。「国家防災戦略」には、発災前、発災時、発災後における防災サイクルにおける全フェーズと関係者が含まれています。

ご存じのとおり、ADRCは1998年7月に設立され、3つの活動「情報共有」、「能力向上」、「協力」を柱に、多国間防災協力を推進しています。我々の多くは、災害の経験や知識の共有や、様々な知見のネットワーク化は、効果的な防災において、必要不可欠であると知っています。

ADRCの客員研究員プログラムは、さらなる経験と、日本における防災の優良事例を学ぶ機会を私に与えてくれるものと強く信じています。ADRCのメンバー国において、災害への技術や対応力が向上し、リスク削減といった重要な課題が、将来達成されることを願います。